第４章　産　業　経　済

第1節　農　　林　　業

1　農業委員会

本委員会は19人（定員19人）の農業委員で構成され、月１回（年12回）の定例総会を開催し、農地法の規定による届出書、許可申請書等の審査及び農業に関する諸問題を協議した。

また、20人（定員22人）の農地利用最適化推進委員が農地の集積、集約化の推進を図るため現場主導の委員として活動した。

このほか、広報活動として「農業委員会だより」を３回発行した。

⑴　主な委員会活動

ア　農地法にかかる許認可事務

イ　農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく経営規模拡大等のための農地利用集積の推進

ウ　農地法に基づく無断転用防止対策及び指導並びに遊休農地解消対策に基づく農地パトロールの実施

エ　農業者年金加入推進及び給付手続並びに受給者現況届出事務

⑵　農地法に関連した申請

項目			件数	面積		
				田	畑	計
			件	アール	アール	アール
農地法第３条	許可	所有権移転	44	29.7	672.0	701.7
		使用貸借・賃貸借権設定	3		681.0	681.0
		使用収益権設定				
第４条	届出		35	6.4	103.9	110.3
	許可		4		6.8	6.8
第５条	届出		109	60.2	412.3	472.5
	許可		27		179.0	179.0
小計			222	96.3	2,055.0	2,151.3

項　　目	件　数	面　　積		
		田	畑	計
	件	アール	アール	アール
計　画　変　更	6		20.6	20.6
農地中間管理事業の推進に関する法律による計画申請	100	218.5	2,976.0	3,194.5
非農地現況証明	11		159.1	159.1
農地法第18条第6項の通知	5		185.3	185.3
買受適格者証明（競売）	4	23.5	100.3	123.8
相続税・贈与税の納税猶予制度にかかわる適格者証明	5		90.2	90.2
農地法関係証明	161	―	―	―
農地転用事実確認証明	4	―	―	―
国有農地管理事務取扱	18		30.7	30.7
小　　計	314	242.0	3,562.2	3,804.2
合　　計	536	338.3	5,617.2	5,955.5

⑶　農業者年金の状況（令和８年３月31日現在）

農業者年金被保険者　　16人

農業者年金受給者　　167人

２　農業振興事業

従事者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加などの厳しい環境の中で、農業振興を図るため、認定農業者制度や農地利用集積の推進に努めた。

また、意欲ある農業者等に対してスマート農業導入支援事業補助金をはじめとした各種支援を行うとともに、新規就農者確保を目的として新・農業人フェアへ出展し、本市農業の魅力発信及び就農相談を実施するなど、本市農業の健全な発展を図った。

さらに、学校給食への地場農産物導入、高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト、食育体験ツアーの実施により地産地消や食育を推進するとともに、地場農産物の消費拡大、認知度向上を目的として新茶の茶摘み体験やお月見茶会等を実施した。

事　業　名	事業費	補助金	概　要
	千円	千円	
農業改革推進事業	20,405	16,431	• スマート農業導入支援事業 • 新・農業人フェア出展 ほか
中山間地域等直接支払制度実施事業	16,765	16,585	集落協定　9集落
地産地消総合推進事業	2,889	2,100	• 食育体験ツアー • 高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト　ほか
沼津の農産物振興事業	3,584	2,971	• 沼津茶消費拡大推進事業 • みかん品種転換促進事業 ほか

3　林業振興推進対策事業

森林の有する多面的機能が持続的に発揮される森林整備を推進した。

香貫山、千本松原、戸田生活環境保全林について、機能維持及び市民の保健・文化・教育的な利用に供することを目的に保全管理業務を実施した。

4　森林環境整備促進事業

国が温室効果ガスの削減や災害防止を図るために創設した森林環境譲与税を財源とし、森林整備に係る施策を実施した。また、木材利用の普及啓発や次世代の林業を担う人材育成を推進したほか、香貫山里山環境整備計画を策定し、遊歩道の補修工事等「市民の憩いの場」の再生を図った。

5　林道整備事業

森林資源の保全と林業振興を図るため、林道整備事業を実施した。

区　分	事業費	概　要
	千円	
林道整備事業	1,134	林道蟹沢洞線舗装改良工事 ほか

6　松の材線虫防除事業

松の材線虫による被害の拡大を防止するため、松林の枯損木の除去、薬剤散布等を実施した。

事　　業　　費　　42,654千円
地　上　散　布　　千本松原ほか　　延べ230.6ha
薬剤樹幹注入　　千本浜公園ほか　　3,255本
枯　損　木　除　去　　68.1㎥

7　治　山　事　業

土砂災害から人命・財産を守るため、崩壊の恐れのある山林斜面の安定を図る治山事業を実施した。

区　　分	事業費	概　　要
治　山　事　業	千円 46,546	大平真崎地内治山工事 ほか

8　有害鳥獣等対策事業

野生鳥獣による農林業被害に対し、沼津市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、沼津市鳥獣被害対策実施隊による実効性の高い被害防止対策を行った。

また、有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣防護柵等の設置等に係る補助を行うとともに、狩猟免許の取得に係る補助を行った。

9　畜産振興事業

畜産業に起因する環境問題対策を推進するため、死亡獣畜処理事業及び畜舎一斉防除事業に加えて、臭気対策事業に対する補助を行った。

事　業　名	事業主体	補助金	概　　要
死亡獣畜処理事業	畜　産　農　家	千円 172	成　牛　9頭 子　牛　4頭
畜舎一斉防除事業	富士伊豆農業協同組合	183	受益農家数　8戸
臭気対策事業	畜　産　農　家	1,798	脱臭装置　1件

第2節　土地改良事業

農業基盤整備により生産性の向上を図り、農業経営の安定に資するため、国及び県の補助事業、市の単独事業等を実施した。

1　国補助事業

区　　分	工 種	事 業 費	概　　要
		千円	
地域創造支援事業	た め 池	14,960	門池水質改善対策検討調査業務委託

2　県補助事業

区　　分	工 種	事 業 費	概　　要
		千円	
基幹農業水利施設緊急突発事故復旧事業	ポ ン プ	1,980	女鹿塚揚水機場排泥ポンプ更新工事
農業農村整備事業	農　　道	7,447	大平横代前地内農道改築工事

3　市単独事業

区　　分	工 種	事 業 費	概　　要
		千円	
改　　良	浚　渫 農　道	17,237 7,174	施工延長　434.4m 施工延長　174.0m
維　持　補　修	水　路 浚　渫 農　道 ポンプ その他	8,533 4,797 4,332 2,323 5,864	香貫用水水路浚渫工事ほか　66件
工事材料支給	農　道 水　路	9,478	生　コ　ン　76.0㎥ 砕石・ＲＢ材　779.8㎥ アスファルト合材　76.8ｔほか
そ　の　他	その他	15,446	門池測量業務委託 使用料及び賃借料、負担金　ほか

4　県営事業

区　　分	事 業 費	負担金等	概　　要
	千円	千円	
県営経営体育成樹園地再編整備事業	716,400	132,300	重須地区 西浦みかん（江梨、東部、足保久料、立保古宇、江梨西部）地区 浮島北部地区
水利施設整備事業	222,000	6,660	大平徳倉排水機場、沼津西部排水機場、月川排水機場、松毛川排水機場
地域用水環境整備事業	125,000	1,563	水の都三島地区

第３節　水　　産　　業

水産業の活性化と振興を図るため、出漁促進事業などへの補助、１次産品の販路拡大及びブランド化の推進、「海業」の実施に向けた漁港活用推進計画の策定に着手するとともに、漁港施設の整備などを実施した。

１　水産業振興事業

⑴　水産業振興推進事業

事業名	事業主体	事業費	概要
漁業近代化資金利子補給事業	東日本信用漁業協同組合連合会（静岡支店）	千円 6,551	利子補給　　28件
水産物流通促進事業	沼津魚市場株式会社	1,942	水揚奨励
出漁促進事業	沼津魚市場株式会社 静浦漁業協同組合	8,519 309	出漁奨励

⑵　１次産業活性化推進事業

本市１次産品の販路拡大及びブランド化を推進するため、ＥＣサイトを整備し、生産者と消費者を直接つなぐ販路拡大業務を実施したほか、市内４漁協による山梨県及び県内での水産物販売活動を支援した。

また、本市１次産品及び１次産業への関心の向上並びに魚食普及を図るため、市内小学生とその保護者を対象とした本市１次産品の料理教室や、深海魚に関する有識者による講演会「戸田深海魚大学」を開催したほか、関係団体等と連携して「漁業就業支援フェア」へ出展するとともに、プロモーション動画を活用したＰＲを実施した。

2　漁港施設整備事業

(1)　県営漁港事業

事　業　名	事 業 費	負 担 金	概　　要
	千円	千円	
静 浦 漁 港 整 備 事 業	10,000	2,000	水産物供給基盤機能保全事業 　馬込第２船揚場斜路改修工事
戸 田 漁 港 整 備 事 業	118,840	25,560	水産物供給基盤機能保全事業 　入浜防波堤長寿命化工事 地方創生港整備推進交付金事業 　鬼川物揚場長寿命化工事 県単独漁港整備事業 　大浦物揚場エプロン嵩上工事 　沢海地区照明灯更新工事

(2)　市営漁港事業

事　業　名	事 業 費	概　　要
	千円	
漁 港 維 持 事 業	4,132	江梨１号物揚場防舷材設置工事　ほか
市営漁港機能保全事業	41,753	水産基盤施設機能保全計画更新業務委託　ほか

第4節　商　　工　　業

1　中小企業金融対策事業

中小企業の健全な育成に資するため、その事業活動に必要な資金を貸し付けた金融機関等に利子補給金を交付し、事業資金の融資の円滑化を図った。

制　度　名	利子補給額	年度中貸付実行		年度末貸付残高	
		件数	金　額	件数	金　額
	円	件	円	件	円
小口資金利子補給	8,006,575	225	774,260,000	439	1,001,593,820
短期経営改善資金利子補給	476,502	51	289,820,000	16	94,360,000
計	8,483,077	276	1,064,080,000	455	1,095,953,820

○　小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給

沼津商工会議所又は沼津市商工会の推薦を受け、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を借り受けた小規模事業者に対し、利子補給を行った。

補給件数　27件　　補給額　838,298円

○　開業パワーアップ支援資金等利子補給

県が実施する開業パワーアップ支援資金又は日本政策金融公庫が実施する新創業融資制度による資金を借り受けた創業者に対し、利子補給を行った。

補給件数　42件　　補給額　849,583円

○　中小企業災害対策資金利子補給

県が実施する中小企業災害対策資金の融資を受けた中小企業者に対し、利子補給を行った。

補給件数　2件　　補給額　81,521円

○　経済変動対策資金利子補給

県が実施する経済変動対策貸付資金（新型コロナウイルス感染症対応枠）の融資を受けた中小企業者に対し、利子補給を行った。

補給件数　181件　　補給額　20,973,727円

2　商工業振興事業

事　業　名	事　業　内　容
まちなか賑わい創生事業	各種団体等が市街地エリアで行うイベント等の開催を支援した。
狩野川周辺にぎわい創出事業	「沼津狩野川かわまちづくり協議会」と連携し、上土町周辺の狩野川右岸階段堤の利用促進に向けた取り組みとして、「水辺のステージ」などのにぎわい事業や情報発信等を行った。
まちなか商業リブランディング推進事業	魅力ある個店と魅力ある買い物環境創出のため、「リブランディング企画塾」を開催し、個店の魅力創出方法やエリアの人流データ分析を学び、事業で得られた成果を地域の方たちに向け情報発信した。
伝統技能体験事業	大工、左官、板金などの伝統技能の披露及び子どもを対象としたものづくり体験を行った。
小学生科学ものづくり体験教室支援事業	小学生を対象に科学実験等の体験教室を行う「沼津市少年少女発明クラブ」の活動を支援した。
ニュービジネス創出事業	中小企業が「経営革新計画」に基づいて行う新技術や新サービス等の開発・販路開拓に要する経費の一部を支援した。
複業人材活用支援事業	市内中小企業を対象に複業人材の活用を推進するための個別相談会、複業人材のマッチング、伴走支援を実施し、経営基盤の強化を図った。
商工業振興ビジョン改定事業	本市経済状況の分析、現状の課題を整理し、新たな施策の方向性を示すことを目的として「沼津市商工業振興ビジョン」を改定した。
事業承継促進事業	円滑な事業承継を促進し、地域経済基盤の強化を図り、持続的な地域産業の発展を目指すことを目的に、市内事業所を対象に事業承継への意識や後継者の有無などについてのアンケート調査を実施した。
東駿河湾クラフトビール地域循環共生圏推進事業	沼津市、三島市及び静岡クラフトビール協同組合で組織する「東駿河湾クラフトビール地域循環共生圏推進協議会」において、特徴的な地域資源であるクラフトビールを活用した地域の魅力向上と地域循環社会の形成に取り組んだ。

3　起業創業支援事業

事　業　名	事　業　内　容
中小企業支援センター運営事業	創業や経営改善のサポートを目的に専任のコーディネーターを配置し、指導や情報提供などを行う沼津地域中小企業支援センターの運営を支援した。
知的財産活用事業	企業の技術移転や特許活用を促すため、知財活用コーディネーターを配置し、知的財産権にかかる相談対応や情報提供を行う取り組みを支援した。
創業セミナー開催事業	起業を目指す人や創業して間もない人を対象としたターゲット別セミナーなどにより起業者の増加と継続的な事業活動の活性化を図るとともに、高校生を対象とした起業セミナーなどにより創業気運の醸成を図った。

4　企業立地促進事業

事　業　名	事　業　内　容
企業立地促進事業費補助	一定規模以上の用地を取得して工場等を設置し、雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数　9件　　補助額　425,109,000円
中小企業設備投資促進事業費補助	建物の新増築と機械設備の導入を行い雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数　4件　　補助額　32,861,000円
ＩＴオフィス等進出事業費補助	市内に新たに賃借によりＩＴオフィス等を開設した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数　5件　　補助額　3,597,000円
本社機能移転拡充促進事業費補助	市内に新たに本社機能（事務所、研究所、研修所）を新増設した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数　3件　　補助額　384,000円
ＩＴ企業向け市内体験型視察ツアー	首都圏のＩＴ企業等を対象に、本市で住み働くイメージを高め、市内へのサテライトオフィス等立地促進を図るため、視察ツアーを実施した。

5　イーラde管理運営事業

イーラde（大手町地区再開発ビル）の市保有床（商業床・駐車場床）の財産運用収入を財源に、沼津駅周辺総合整備基金への繰出しや保有床の管理運営に係る経費等を負担した。

6　各種商工業団体補助金

（単位　千円）

交付件名	交付先	金額
沼津商工会議所運営費補助金	沼津商工会議所	6,840
沼津市商工会運営費補助金	沼津市商工会	5,130
沼津市商店街連盟運営費補助金	沼津市商店街連盟	2,078
沼津中小企業相談所運営費補助金	沼津商工会議所	2,078
沼津市物産振興協議会運営費補助金	沼津市物産振興協議会	1,350
その他の補助金	4件	1,369

第5節　労　　働

1　技能功労者表彰

55歳以上で30年以上同一職業に従事し、現在も第一線で活躍している技能優秀かつ後進の育成など、功労顕著な技能者の第50回表彰を行った。

○表　彰　職　種　　建築大工職ほか全11職種

○被　表　彰　者　　16人

2　勤労者教育資金利子補給事業

勤労者の経済的負担を軽減するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた子弟の大学等への就学資金に対し、利子補給を行った。

○補　給　件　数　　446件

○補　　給　　額　　2,724,917円

3　勤労者住宅建設資金利子補給事業

勤労者の住宅取得を支援するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた自家の新築及び増改築資金等に対し、利子補給を行った。

○補　給　件　数　　2,260件

○補　　給　　額　　27,524,725円

4　勤労者育児支援資金利子補給事業

勤労者の育児支援をするため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた育児休業中の生活費、育児に必要な家具等の購入費用、出産にかかる費用、その他子育てに要する費用に対し、利子補給を行った。

○補　給　件　数　　42件

○補　　給　　額　　114,377円

5　就 職 支 援

市内企業の安定した雇用の確保と、市内外の求職者の市内企業への就労を促進するため、沼津しごと応援サイト「ぬまjob」の運営を行った。また、求職者等の就労支援として、就労支援

員による就職相談やアフターフォローによる早期離職防止など、伴走型支援を行うキャリアデザイン相談センターを設置したほか、富士市と連携した合同就職面接会等を開催し、雇用のマッチングを図った。さらに、働きやすい職場環境の推進を図るため、カスタマーハラスメント対策セミナー等を開催した。

6　奨学金返還支援

学生の市内企業への就職及び本市への定住を促進するため、市内中小企業に就職し、かつ市内に居住した勤労者に対し、日本学生支援機構の奨学金返還金の一部を補助した。

○補　助　件　数　　15件

○補　　助　　額　　1,978,103円

第6節　にぎわい・観光

首都圏等を対象としたＰＲ、インバウンドの誘客推進、各地域における特色あるイベントの開催など、豊かな地域資源を活用した観光の振興等により、本市の魅力発信や活性化に努めた。

1　観 光 宣 伝

広報ぬまづ、市ホームページ、ＳＮＳ等による観光情報の提供、観光パンフレットの発行及び旅行雑誌、テレビ、ラジオ等のマスメディアに加え、東京デスクを活用し首都圏在住在勤者を対象に本市の魅力のアピールに努めた。

2　観 光 行 事

「第78回沼津夏まつり・狩野川花火大会」を市、沼津商工会議所、沼津市商店街連盟、沼津市自治会連合会、ＮＰＯ法人沼津観光協会の協調により、7月26日、27日に開催した。

また、沼津御用邸記念公園において、「沼津御用邸記念公園hana・花・シンフォニー」を開催し、11月8日から24日までの期間中、菊華展や竹のインスタレーション、生け花の展示などを行い、皇室ゆかりの特別な空間で本市の魅力を発信した。

3　インバウンドの推進

交流人口の拡大に向け、連携強化を進める台湾を主なターゲットとし、旅行会社やインフルエンサー等を活用したプロモーションを行ったほか、沼津夏まつりにおいて台湾企画展を開催した。

また、観光案内所等におけるWi-Fi設備の整備により、外国人旅行者の利便性と満足度の向上を図った。

4　海 水 浴 場

千本浜、島郷・志下、平沢、大瀬、御浜、井田の市内６か所において、多数の海水浴客が見込まれる７月19日から８月31日までの期間（平沢・御浜44日間、大瀬・井田37日間、千本浜・島郷・志下16日間）に海水浴場を開設し、監視所の設置などにより水難事故の防止に努めた。

5　観 光 施 設

本市を訪れる観光客に観光地等の適切な情報を提供するため、観光案内板の設置を行った。

なお、本年度は市内のレストスポットにおいて、照明のＬＥＤ化改修工事を実施した。

また、「我入道の渡し船」は沼津我入道漁業協同組合が、「沼津港水門展望施設（びゅうお）」は東海ビル保善株式会社が、「戸田はかま滝オートキャンプ場」は戸田森林組合が、「くるら戸田」は戸田にぎわい共同事業体が、それぞれ指定管理者として観光施設の管理運営を行った。

6　多目的展示イベント施設

プラサヴェルデ運営共同事業体が、指定管理者として多目的展示イベント施設（キラメッセぬまづ）の管理運営を行った。

7　コンベンションの誘致

国内外の各種コンベンションを誘致し、県東部地域の交流人口の拡大と地域経済や観光産業等の活性化を推進している静岡県東部地域コンベンションビューローの活動を支援した。

8　アスルクラロ沼津に対する支援

本市を拠点に活動するプロサッカーチームであるアスルクラロ沼津に対し、ホームタウンとして応援機運を醸成するため、沼津マッチの開催、オールブループロジェクトの実施のほか、アスルクラロ沼津が行った小中学生を対象としたホームゲームシーズン無料観戦チケット「ア

スポート」の発行に係る支援を実施した。

9　フェンシングのまちづくり

フェンシングを通じてにぎわいのあるまちづくりを目指し、フェンシング交流拠点施設「F3 BASE」を拠点に、日本代表をはじめとした合宿受入れやシンボルフェンサーの育成などを行った。

「Proud NUMAZU CUPフェンシング選手権2025」という冠をつけた全国大会を7月と11月に開催した。

さらに、フェンシングの裾野拡大のため、スマートフェンシング指導者育成講習会や大人を対象とした体験会を開催したほか、地元企業所属の現役日本代表選手とともに学校訪問事業を実施した。また、東京オリンピックレガシーとして、ホストタウンの相手国であるカナダの選手を「Proud NUMAZU CUPフェンシング選手権2025　ミニム・ベンジャミンオープンカップ」に招待したほか、地元選手との合同練習や日本文化体験を行った。

10　サイクルツーリズムの推進

本市への更なるサイクリスト誘客のため、スポーツ自転車のレンタルを含むNUMAZUサイクルステーション静浦東の運営のほか、民間事業者と連携したイベント開催やプロモーション活動に取り組んだ。

また、本市と富士市の連携事業の一環として、地域づくりに関する連携協定を締結しているプロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」と3者合同で、子どもを対象としたランニングバイクイベントを開催した。

11　近隣自治体との連携

⑴　狩野川周辺サイクル事業推進協議会

沼津市、伊豆市、伊豆の国市の3市で構成し、狩野川周辺のサイクリスト誘客に向けた利活用及び地域振興の推進に取り組んでいる。

本年度は、アプリを活用した周遊イベントを開催し、サイクリストをはじめとした交流人口の拡大などに取り組んだほか、ノベルティの作成や大阪で行われたサイクルイベント「ジテンシャ×旅」エリアへ出展を実施した。

⑵　隣接県等への観光ＰＲ

山梨県など隣接県を対象とした誘客キャンペーンを実施したほか、山梨県南アルプス市や

長野県上田市等と連携し、特産品の販売促進や観光ＰＲ等を行った。

12　プロスポーツとの連携

連携協定を結ぶ、静岡ブルーレヴズと連携し、選手によるトップアスリート教室を実施するとともに、東レアローズ静岡、ベルテックス静岡については、香陵アリーナ（総合体育館）でのホームゲーム開催に協力し、交流人口の拡大及びそれを契機とした中心市街地の活性化を図った。また、静岡県営愛鷹球場で開催されたハヤテベンチャーズ静岡の公式戦や、９月に新たに連携協定を締結した静岡ジェードの市民文化センターでのホームゲーム開催に協力した。

13　スポーツ大会・合宿等開催支援事業

スポーツ大会、イベント及びスポーツ合宿の開催を促進し、本市の産業振興並びに地域活性化を図るため、主催者等に対し、対象経費の一部を補助した。

○補助件数　　17件

○補 助 額　　1,379,000円